

令和2年度
ふれあい読書研究会
(まとめ報告書)



熊本県PTA連合会

令和2年度 ふれあい読書研究会

目次

☆令和2年度ふれあい読書研究会委嘱校

☆令和2年度委嘱校活動報告

1. 荒尾市立平井小学校PTA	1
2. 玉名市立睦合小学校PTA	2
3. 南関町立南関第二小学校PTA	3
4. 山鹿市立三玉小学校PTA	4
5. 山鹿市立大道小学校PTA	5
6. 菊池市立菊池北中学校PTA	6
7. 菊池市立菊之池小学校PTA	7
8. 菊池市立戸崎小学校PTA	8
9. 菊陽町立菊陽中部小学校PTA	9
10. 阿蘇市立阿蘇中学校PTA	10
11. 山都町立清和小学校PTA	11
12. 甲佐町立龍野小学校PTA	12
13. 宇土市立走潟小学校PTA	13
14. 宇城市立小川中学校PTA	14
15. 宇城市立三角中学校PTA	15
16. 宇城市立不知火中学校PTA	16
17. 宇城市立当尾小学校PTA	17
18. 上天草市立姫戸中学校PTA	18
19. 八代市立千丁小学校PTA	19
20. 八代市立第五中学校PTA	20
21. 氷川町立宮原小学校PTA	21
22. 八代市立二見中学校PTA	22
23. 水俣市立久木野小学校PTA	23
24. 水俣市立水俣第二小学校PTA	24
25. 芦北町立湯浦中学校PTA	25
26. 人吉市立西瀬小学校PTA	26

令和2年度ふれあい読書研究会委嘱校

	ブロック	エリア	単位PTA名
1	県北	荒尾市	荒尾市立平井小学校PTA
2		玉名市	玉名市立睦合小学校PTA
3		玉名郡	南関町立南関第二小学校PTA
4		山鹿市	山鹿市立三玉小学校PTA
5		山鹿市	山鹿市立大道小学校PTA
6		菊池市	菊池市立菊池北中学校PTA
7		菊池市	菊池市立菊之池小学校PTA
8		菊池市	菊池市立戸崎小学校PTA
9		菊池郡	菊陽町立菊陽中部小学校PTA
10		阿蘇郡市	阿蘇市立阿蘇中学校PTA
11		上益城郡	山都町立清和小学校PTA
12		上益城郡	甲佐町立龍野小学校PTA
13		県南	宇土市
14	宇城市・ 下益城郡		宇城市立小川中学校PTA
15	宇城市・ 下益城郡		宇城市立三角中学校PTA
16	宇城市・ 下益城郡		宇城市立不知火中学校PTA
17	宇城市・ 下益城郡		宇城市立当尾小学校PTA
18	上天草市		上天草市立姫戸中学校PTA
19	八代郡市		八代市立千丁小学校PTA
20	八代郡市		八代市立第五中学校PTA
21	八代郡市		氷川町立宮原小学校PTA
22	八代郡市		八代市立二見中学校PTA
23	水俣市		水俣市立久木野小学校PTA
24	水俣市		水俣市立水俣第二小学校PTA
25	葦北郡		芦北町立湯浦中学校PTA
26	人吉市		人吉市立西瀬小学校PTA

ふれあい読書研究会活動報告書

令和2年度

単位PTA名 (平井小)	児童生徒数 (155) 人
1. 予算執行状況 (収入・支出)	
(収入) 県P 50,000 単P 0 その他 0	(支出) 50,000 (図書 35冊分)
2. 活動内容・成果・反省	
◎活動内容	
<ul style="list-style-type: none"> 10月から3月まで朝の読み聞かせを行った。読み聞かせは、輪番制で担当し、各学年2回ずつ、月ごとに学年を変えて行った。 てびくろの会のメンバーで、学校へ寄贈する絵本の選定を行った。 	
◎成果	
<ul style="list-style-type: none"> 月2回の読み聞かせを児童が楽しんでくれ、お話の世界に引き込まれる子どもたちが増えた。 コロナ対策を万全に行い、朝の読み聞かせの活動を欠かさず実施できた。 	
◎反省	
<ul style="list-style-type: none"> コロナの影響で、本来行っている6月の祖父母参観日での絵本の読み聞かせと、12月のクリスマス会でのパネルシアターが実施できず断念した。 	
3. 今後の取り組みについて	
<ul style="list-style-type: none"> 20年近く続いているてびくろの会の活動を有志を募って続けていきたい。主な取組としては、6月の祖父母参観、12月のクリスマス会をはじめ、絵本の読み聞かせを重点的に行う。 	
4. 要望・その他	
<ul style="list-style-type: none"> 50,000円の助成金をいただきありがとうございます。季属を受け、子どもたちに絵本の読み聞かせをすることができました。次年度も、子どもたちのために、絵本の読み聞かせを積極的に行いたいです。大変お世話になりました。 	

ふれあい読書研究会活動報告書

令和2年度

単位PTA名 (睦合小学校PTA)

児童生徒数 (170) 人

1. 予算執行状況 (収入・支出)

(収入) 県P 0円
 単P 50,000円
 その他 0円

(支出) 〇読み聞かせ団体へ謝礼
 10,000円
 〇図書(絵本等)の購入
 40,000円

2. 活動内容・成果・反省

◎活動内容

- 〇PTA活動の一環として、10月から月に2回のペースで、学級での読み聞かせを実施した。
- 〇クリスマスの時期に合わせて、読み聞かせ団体(おはなしくすくす)によるお話会(お楽しみ会)を実施した。

◎成果

- 〇絵本を20冊程度購入することができ、読み聞かせの際に使用することができた。児童の読書への興味も高まっており、貸出し冊数も増加した。
- 〇お話会(お楽しみ会)では、ペープサートやエプロンシアター、ブックシアター等もあり、児童が目を輝かせて聞き入る姿があった。豊かな心育成につながった。

◎反省

- 〇新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、お話会は、1・2年のみの参加とした。全校で実施できなかったことが、残念であった。

3. 今後の取り組みについて

- 〇購入した絵本は、国語科の並行読書等にも活用していきたい。
- 〇PTAの読み聞かせは、今後も継続していきたい。
- 〇保護者と教師が連携してお話会を実施できればと考えている。

4. 要望・その他

- 〇この様な事業は、学校にとっても大変ありがたい。毎年応募ができればと思う。

本年度は、睦合小学校PTAに委嘱いただき心より感謝致します。

ふれあい読書研究会活動報告書

令和2年度

単位PTA名 (南関町立南関第二小学校)	児童生徒数 (86) 人
1. 予算執行状況 (収入・支出)	
(収入) 県P 50000円 単P その他	(支出) 書籍代 50000円
2. 活動内容・成果・反省	
<p>◎活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者ボランティアと地域の読み聞かせボランティアによる読み聞かせを実施した。 ・夏休みの親子ふれあい読書の実施し、感想の掲示を実施した。 ・学級文庫の充実を図るため、司書が選んだ本を各学級においてもらった。また必読書については、児童の意識の向上を図るため、担任から声かけをしてもらった。 ・南関町図書館から月に一度本を50冊貸し出し、各教室に設置した。毎月本を入れ替えられたため、子どもたちは喜んで図書館の本を読むことができた。 ・ノーマディアデー実施日には、読書の呼びかけを行った。 	
<p>◎成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地域の方による読み聞かせは、リモートで実施した。地域の方にも喜んでいただけた。 ・夏休みの親子ふれあい読書も実施できたのでよかった。 ・書籍の購入の際、司書の先生に選書をお願いした。図書室に必要な本、子どもたちに人気のある本を購入していただき、大変よかった。 	
<p>◎反省</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子ふれあい読書の実施率が100%になるように、PTAからの啓発をもっと行っていきたい。 ・ノーマディアデー実施日における読書の呼びかけも、PTAからの啓発を行っていく必要がある。 	
3. 今後の取り組みについて	
<p>○今後の保護者と地域が連携して子どもたちが読書活動に興味・関心をもつような取組を継続していきたい。</p>	
4. 要望・その他	
<p>○本年度、ふれあい読書研究会活動の助成を受けることができ、大変感謝しております。今後も読み聞かせ活動などを継続、充実させるためにも、さまざまなご支援、ご協力をいただければありがたいと思っております。</p>	

ふれあい読書研究会活動報告書

令和2年度

単位PTA名（ 山鹿市立三玉小学校 ）		児童生徒数（ 193 ）人	
1. 予算執行状況（収入・支出）			
（収入）	県P 50,000円 単P その他	（支出）	読み聞かせ図書 31,350円 親子読書用紙 5,000円 読み聞かせ用品 10,000円 図書室備品等 3,650円
		合 計	50,000円
2. 活動内容・成果・反省			
◎活動内容			
（1）読み聞かせ PTA母親部と地域ボランティアの皆さんによる読み聞かせ（毎月第2木曜日）を月に一度行った。コロナ流行の影響で、例年より少ない回数だったが、子どもたちは、読み聞かせを楽しみにしていた。			
（2）読書旬間 秋の読書旬間（10月26日～11月6日）に、児童図書委員会で様々な催しを行い、読書が好きになった児童が多かった。読書クイズ、読書郵便、兄弟学年の読み聞かせ、目標冊数の設定、親子読書など、いろいろな企画を楽しんだ。			
（3）親子読書 秋の読書旬間に家庭でも読書に親しんでもらうために親子読書に取り組んだ。お家の人と同じ本を交代でリレー読みしたり、一緒に声をそろえて読んだりしたようである。作成した親子読書カードは、学校で掲示してお互いに見合った。			
（4）読書クイズ 図書委員で物語や図鑑などから、クイズを作り掲示し、本への関心を高めた。			
◎成果			
<ul style="list-style-type: none"> ・読書推進員と図書教育担当の先生が中心となって、図書室の読書環境を整えたり、児童図書委員会で様々な取り組みを行ったりしたことで、子どもたちが進んで読書をするようになり年間平均一人109冊読むことができた。（12月現在） ・読み聞かせに来られるボランティアの人数を増やすことができた。また、読み聞かせに適した本も購入することができた。 			
◎反省			
<ul style="list-style-type: none"> ・今年は、地域ボランティアによる読み聞かせの回数が減ってしまった。 ・親子読書は、好評だったので今後も続けて行きたい。 ・図書の貸し出し冊数、読む本のジャンルなどに個人差があるので、今後は「いつでも読める1冊」を机に入れておくように全校で取り組んでいきたい。 			
3. 今後の取り組みについて			
<ul style="list-style-type: none"> ・PTAと連携しながら、「親子ふれあい読書週間」を企画し、ノーテレビデーとも連携しながら、1週間程度、家庭での読書活動の機会を設定し、読書の楽しさを家庭へと広めていきたい。 			
4. 要望・その他			
ふれあい読書研究会の委嘱をいただき、充実した活動や読書環境づくりができました。ありがとうございました。これからもこの事業が継続され、子どもたちが本に親しむ機会が増えることを願っています。			

ふれあい読書研究会活動報告書

令和2年度

単位PTA名（山鹿市立大道小学校）	児童数（255）人
1. 予算執行状況（収入・支出）	
（収入） 県P 50,000円 単P 193円 その他	（支出） 50,193円 本の購入
2. 活動内容・成果・反省	
○活動内容 読み聞かせ会「あっぷるみんと」は、毎週水曜日の朝の15分間、各クラスで絵本・パネルシアター・素話などを行うことで、子どもたちの読書に対する興味をもたせ、本を読もうとする意欲につなげるようにしています。その他にも、図書室ボランティア「マーマレード」は、第2・3火曜日の昼休みに図書室で「しおり」や「クリスマスカード」などを作って遊ぶことで、本を借りるきっかけづくりのお手伝いをしています。また、PTA家庭教育部では、長期休業の際に、親子読書の推進をしており、読んだ本・感想を記入し家庭に紹介するなどの読書推進活動に取り組んでいます。	
○成果 読み聞かせ「あっぷるみんと」は、朝の忙しい時間ですが、先生方にも一緒にお話を聞いていただいて、同じ時間、同じ空気を共有してもらっています。学校で行っている童話発表会や親子読書などにつながっていればと思います。保護者だけでなく、地域の方、校長先生まで絵本を読んでもくれることを子どもたちも楽しみにしています。コロナ禍で、おうち時間が増え前年度より貸し出し数も増え、今回購入させていただいた本も活用してもらっています。	
○反省 1学期、さまざまな行事が中止・縮小する中、「あっぷるみんと」も集まることができず、LINEを使って「どうすれば、感染拡大防止に気をつけ、読み聞かせを再開できるか。」を話し合いました。 2学期から活動を再開し、読み聞かせをする前に、検温・消毒・子どもたちの前ではフェイスシールド着用などの工夫をして活動しています。フェイスシールドに慣れず、戸惑う場面もありましたが、「どうすればできるか。」の知恵を絞って頑張っています。これからも学校と協力し、感染防止に努めながら、子どもたちによりよい本を読んでいきたいです。	
3. 今後の取組みについて 学期末は、「どのような本を読み、子どもたちの様子がどうだったか。」また、本に詳しい方がおすすめの本を紹介するなど、情報交換をして、読み聞かせが更によくなるように勉強会をしています。本年度は状況に応じて行いたいと思います。 今後も学校と家庭と地域のボランティアの方々と協力して、子どもたちの読書週間の定着に向けて取り組んでまいります。	
4. 要望・その他	
○特にありません。	

ふれあい読書研究会活動報告書

令和2年度

単位PTA名 (菊池市立菊池北中学校)	児童生徒数 (132) 人
1. 予算執行状況 (収入・支出)	
(収入) 県P ¥50,000 単P その他	(支出) ¥50,000 新聞購読費 図書購入費
2. 活動内容・成果・反省	
<p>◎活動内容</p> <p>①全校生徒で10,000冊読む取組</p> <p>②図書委員会の活動 (POP作り、帯づくり、様々なイベント企画、多読賞の表彰、NIEの取組等)</p> <p>③ふれあい読書DAY (月1回 家庭での読書推奨 ノーメディアデーに実施)</p> <p>④保護者・地域の方の読み聞かせボランティア (ママ (菊) の会) 年4回実施</p> <p>⑤オープン・ライブラリー (保護者対象の図書館見学会 年4回 授業参観時に実施)</p> <p>④読書時間の設定 (朝自習読書、給食準備中の読書)</p>	
<p>◎成果</p> <p>○「全校生徒で10,000冊読もう」という目標を毎年掲げ取り組んでいる。1月末現在で、9,500冊に達しており、2月には、達成する見込みである。「このような時だからこそ、本を読んで欲しい」と学校全体で図書館利用を促したことが、今年度の10,000冊につながったと思う。現時点で月一人あたりの平均冊数が7.6冊となっている。</p> <p>○保護者・地域の方による読み聞かせは、生徒たちに好評である。ボランティアの方の本の選書、内容等も工夫されているので、是非続けていきたい。</p>	
<p>◎反省</p> <p>○感染症対策を徹底した図書館運営を行なっていた。しかし、通常の読み聞かせが出来ないため、ZOOMで行った。</p> <p>○オープン・ライブラリーは、今年度は中止とした。保護者の方々から、とても好評で是非行って欲しいという要望があがっていただけに残念ではあった。今年度は中止とした。</p> <p>○読み聞かせボランティアへの協力者が、減少している。</p>	
3. 今後の取り組みについて	
<p>次年度も感染症対策を考慮しながら、読書の推進活動を進めて行きたい。ふれあい読書は、定期的に取り組めるように、今後実施方法等を工夫していきたい。</p> <p>今年度より、図書館で英字新聞購読を開始した。英語の得意、不得意に限らず、英語に触れる機会を設け、グローバルな視野を広げて行って欲しいと願っている。</p>	
4. 要望・その他	
<p>今回、購入させていただいた本は、今後も有効に活用していきたいと思っている。</p>	

ふれあい読書研究会活動報告書

令和2年度

単位PTA名 (菊池市菊之池小学校)		児童生徒数 (280) 人	
1. 予算執行状況 (収入・支出)			
(収入)	県P 50,000円 単P 0円 その他 0円	(支出)	講師謝礼 10,000円 図書室整備代 40,000円
2. 活動内容・成果・反省			
◎活動内容			
<ul style="list-style-type: none"> (1) 肥後っ子いきいき読書アドバイザー事業 (2) 「きくちおはなしのもり」による読み聞かせ (3) 図書室環境整備 (4) 読書月間の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・読書郵便 ・読書の木 ・図書委員会の児童による読み聞かせ 			
◎成果			
<ul style="list-style-type: none"> ・肥後っ子いきいき読書アドバイザー事業では、読書活動推進のためのさまざまな方法や児童が利用しやすい図書室の環境整備についてのアドバイスをいただき、とても参考になった。 ・「きくちおはなしのもり」による読み聞かせでは、絵本の読み聞かせや昔話の語り、テーブルシアターなどがあり、子どもたちがお話の世界に引き込まれ、読み聞かせを楽しんでいた。 ・読書月間に行った読書郵便では、児童が互いに好きな本を紹介し合うことで、今まであまり読んだことのない分野や内容の本に触れ、楽しみながら読書していた。複数の友達に本を紹介する児童も多くいた。 			
◎反省			
<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、新型コロナウイルスの影響もあり、例年行っている地域ボランティアの方々による読み聞かせが実施できなかった。来年度は、感染対策をしっかりと行いながら実施し、児童が本に触れる機会を増やしたい。 ・自ら進んで本を読む児童とそうでない児童との個人差や学級差がある。なかなか本を読まない児童にどのように読書の楽しさを伝え、関心を持ってもらえるようにするかが課題である。 ・図書委員会の読み聞かせにたくさんの児童が来るよう放送で呼びかけたが、来てくれる児童が少なかったため、方法を考える必要があった。 ・図書室の環境整備がまだ不十分なため、来年度以降も行っていく必要がある。 			
3. 今後の取組について			
<ul style="list-style-type: none"> ・各教科の学習でもっと気軽に図書室を活用してもらえよう、本棚の整備や蔵書の整理・購入を進めていきたい。また、読書月間だけでなく、年間を通じた計画的・継続的な取組を行ったり、図書室や校舎内の図書に関する掲示の工夫したりしていきたい。 ・学校だけでなく、家でも読書に親しむ児童が増えるよう、保護者向けの講演を行ったり、毎週木曜日のノーメディアデーに読書を呼びかけたりして、家庭と連携して読書活動の推進を進めたい。 			
4. 要望・その他			
<p>補助金は有効に活用させていただきました。今年は中間報告がなく、他校でどのような取組が行っておられるのかを知ることができず残念でしたが、今後も読書活動の推進のために取り組んでいきたいと考えています。ありがとうございました。</p>			

ふれあい読書研究会活動報告書

令和 2 年度

単位PTA名 (戸崎小学校 PTA)		児童生徒数 (71) 人	
1. 予算執行状況 (収入・支出)			
(収入)	県P 50,000 単P その他	(支出)	50,000
2. 活動内容・成果・反省			
◎活動内容 ・本の読み聞かせ(大型絵本を使って)三密に気をつけながら活動を行い、また、又しぶりの読み聞かせもあり、子供達も自己輝かせながら、しかりとお話を聞いていた様子、とても楽しんでくれた。 <ul style="list-style-type: none"> ◦図書室に季節にちなんだ飾り物や新しく本を講入した本にカバーをとりつけたり、次の月に使えるように、カズ風のメニュー作成やディスプレイを行った。 			
◎成果 ・大型絵本を使った読み聞かせでは、子供達の声から「楽しかった。もう読んで、もう自分で読んでみる」と、声がかかった。高学年では、「読み方について、読み慣れた本でも色んな楽しみ方がある事が分かった」という声も聞かれ、この活動としてはとても良かったと思えます。 <ul style="list-style-type: none"> ◦図書室にディスプレイした事で、(今、はやり物のキラクターを取り入れた事で)子供達からも人気が出た。新しく本を講入した事で、図書室に来る子供達が増え、予約する子供達も増えてきた。季節感を取り入れたので図書室が賑やかになった。 			
◎反省。本の読み聞かせで、大型絵本の他に、110ネルニアターを使用して活動を行ったが、コロナの影響で、断念せざるを得なかった。110ネルニアターを保持して活動が出来なかった事が残念であった。三密を避け、色んな知恵を絞ったから、コロナの段階を見ながら、タイミングを見てどこかで、活動が出来ればと思う。 <ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせでは、ボランティアの方達と計画して読み聞かせを行っていたが、コロナの影響で出来なかった。少しお休みが再開出来ればと思う。 			
3. 今後の取り組みについて			
<ul style="list-style-type: none"> ・子供達が、図書館(室)にもっと来くなるような雰囲気作りをし、季節にちなんだシートアウトや楽しめるようなイベント風を取り入れながら、図書室を楽しいイメージを作っていく。 ・興味のある絵本や子供達のリクエストに答えている。もっと本が充実出来ればと思う。 ・110ネルニアターと一緒に、タイミングをみて、行えたらと思う。 ・本の読み聞かせや、ボランティアの方と協力しながら、読み聞かせを続けていきたい。 			
4. 要望・その他			

ふれあい読書研究会活動報告書

令和2年度

単位PTA名 (菊陽町立菊陽中部小学校)	児童生徒数 (852) 人
1. 予算執行状況 (収入・支出)	
(収入) 県P 50,000円	
(支出) ○図書購入費 49,500円	領収書番号 1
○その他 500円	領収書番号 2
合計 50,000円	(※領収書は別紙添付)
2. 活動内容・成果・反省	
<p>◎活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全校一斉「朝の読書」 ・地域・家庭との連携ー地域ボランティア「お話宅急便」の読み聞かせ ・図書委員会の活動「100冊読もうキャンペーン」「おすすめの本」(新刊紹介等) ・図書委員会常時活動の充実(貸出業務・本の整理等) ・校長先生の全校児童へ読み聞かせ(6月1日「学校再開の日」・後期始業式) ・日本十進分類法を学ぶ「オリエンテーション」 ・新型コロナ感染予防対策 等 	
<p>◎成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度第66回 全九州学校図書館コンクールで菊池郡代表校 ・令和2年度 ふれあい読書研究会委嘱校 ・図書室の貸出冊数の増加 ・「としょかん便り」「ふれあい読書」等による読書推進啓発 ・子どもを誘う(いざなう)図書室の環境整備 ・読書推進活動を通して学校と地域・保護者の連携・協力体制の確立 	
<p>◎反省</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書室貸出冊数の学年差・個人差(不読率をなくす。) ・学校職員の読書推進活動に対する共通認識 ・図書室使用のマナーや態度の徹底等 	
3. 今後の取り組みについて	
<ul style="list-style-type: none"> ・さらなる学校全体で取り組む読書推進活動 ・地域・保護者の連携等 	
4. 要望・その他	

ふれあい読書研究会活動報告書

令和2年度

単位PTA名（阿蘇市立阿蘇中学校PTA）		児童生徒数（339）人	
1. 予算執行状況（収入・支出）			
（収入）	県P 50000円 単P その他	（支出）	50000円
2. 活動内容・成果・反省			
<p>◎活動内容 本校は、図書委員会で活発な活動ができているため、これを継続・強化していく活動に取り組む計画である。しかしながら、本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の取組として、3密にならないように工夫しながら運営することができた。今後は、ガイドライン等を参考にしながら、読書活動を推進するような、生徒自身による広報宣伝活動を中心に組み組んでいく。その際、掲示物や放送等を活用して、視覚的にも聴覚的にも読書のよさを強調し、読書の習慣化につなげていく。</p>			
<p>◎成果 毎日、昼の放送を通して「本日の利用学級」のアナウンスや返却ボックスの教室設置に取り組んだ。新型コロナウイルス感染拡大防止の取組として、3密を避けるためである。このことが、図書室を利用しようという意欲につながり、3密に配慮しながらも読書活動の推進につなげることができた。また、図書委員会による「おすすめの本」コーナーを設置することで、本を紹介することができ、生徒たちの読書活動への意欲を高めることができた。</p>			
<p>◎反省 図書室では、様々な感染拡大防止対策に取り組んできたが、読書活動が活発になるほど密な状態を避けがなくなってしまう。今後は、国語科授業や朝活動の時間等も活用して、利用時間帯が振り分けられるよう工夫していく必要がある。読書推進活動としてピブリオバトルを計画していたが、実施できない状況である。小規模でも実施できるよう工夫していきたい。</p>			
3. 今後の取り組みについて			
<p>生徒会活動では、ウィズコロナの視点で様々なアイデアが出され、活発な話し合いが続けられている。今後も図書委員会を中心に、全校生徒に読書推進ができるよう取り組んでいきたい。また、読書活動のための時間確保を工夫し、読書活動の推進に取り組んでいきたい。</p>			
4. 要望・その他			
<p>今回助成していただいた分で購入したブックカバー等は、感染拡大防止や本の管理において大変重要なものです。図書委員会で活用し、本を大切にすることを喚起するとともに、読書意欲につなげるよい機会として、今後の読書活動の推進につなげていきたいと想います。</p>			

ふれあい読書研究会活動報告書

令和2年度

単位PTA名（山都町立清和小学校PTA）	児童生徒数（93）人
1 予算執行状況（収入・支出）	
（収入）県P 50,000円 （支出）50,000円 学校図書購入	
2 活動内容・成果・反省	
◎活動内容 1 読み聞かせボランティアの取組（おおりタイム） 読み聞かせボランティアとして年間約15回の読み聞かせを行った。朝8時20分～8時30分の10分間が読み聞かせの時間である。また、本年度は、リモートによる読み聞かせ（お話の部屋）にも取り組んだ。 2 必読書の設定 必読書を「あなたにすすめるこの10冊」（10実読書）として、各学年に示した。これは、国語科学習との関連を図ったものである。 3 本の貸し出し学年デーの実施 図書委員会を中心に、曜日を学年に割り振り、優先的に図書の貸し出しができる取組を行った。	
◎成果 ・子どもたちは、朝の読み聞かせを楽しみにしている。落ち着いた生活のスタートにもつながっている。また、読書意欲の向上につながっている。 ・必読書を設定することで、読書内容の広がりが見られるようになってきた。 ・学年デーの取組により、読書量も増加している。	
◎反省 ・現在、読書ボランティアとして、6名の登録（保護者、地域の方で構成）をいただき活動しているが、メンバーの固定化も懸念される。活動ボランティアを増やす努力も必要であると考えます。 ・新刊図書の購入が遅くなり、児童へ紹介するまでに時間がかかった。	
3 今後の取り組みについて	
読書ボランティアの確保に向けても、読み聞かせの活動や児童の様子を他の保護者へ周知したり、啓発したりする機会を設定していきたい。 また、読書環境の整備として、購入した新刊図書をできるだけ速く児童へ紹介し、読書意欲へつなぎ、読書の量と質を高めるようにしていきたい。	
4 要望・その他	
子どもたちの読書環境の整備、読書による豊かな心の育成の観点からも、来年度もぜひ、ふれあい読書研究会活動の取組を継続していきたい。	

ふれあい読書研究会活動報告書

令和2年度

単位PTA名 (甲佐町立龍野小学校)		児童生徒数 (140) 人			
1. 予算執行状況 (収入・支出)					
(収入)	県P	0	(支出)	県P	0
	単P	0		単P	0
	研究会	50,000		研究会	50,000 (本購入)
2. 活動内容・成果・反省					
◎活動内容					
<ul style="list-style-type: none"> 町司書と協力して、図書コーナー (図書館とは別に) を設置し、本を通した子どもたちの交流促進 いつでもそばに本があるような環境の充実 朝の読書や全校読書の継続的取組 学校職員によるおすすめの本紹介 (Zoom 活用) と掲示 各学年保護者 (学年部) による本の読み聞かせ活動の継続 (※) 地域ボランティアによる本の読み聞かせ活動 (※) ※新型コロナの影響で未実施 		図書コーナー			
◎成果					
<ul style="list-style-type: none"> 図書館とは別に、購入した本を設置する図書コーナーを新たに設けたことで、児童が本に親しむ機会が増加した。 図書コーナーにある本について話すことで、児童間に本を通じた交流が生まれた。 常に本がそばにある環境づくりで、本への親しみを深めることができた。 休み時間等に、読書に集中する姿が多く見られるようになった。 学校職員のおすすめの本で紹介した本を借りる児童もいたので、読書の視点が広がった。 		読書の様子			
◎反省		<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各学年保護者 (学年部) や地域ボランティアによる読み聞かせ活動が実施できなかった。 児童同士によるおすすめの本の紹介 (Zoom 活用) が、計画的に実施できなかった。 			
3. 今後の取り組みについて					
<ul style="list-style-type: none"> 地域人材 (保護者・地域ボランティア) を活用した読み聞かせ活動。(新型コロナウイルス感染症の状況によって) 図書委員会や学校司書と連携し、「おすすめの本紹介」「読み聞かせ」の充実を図る。 読書コンクール (個人や学級別)、各学年の国語の授業と関連づけた読書活動の推進。 					
4. 要望・その他					
<ul style="list-style-type: none"> ふれあい読書研究会の委嘱を受けたことで、新書購入による児童の読書環境の充実を図ることができました。学校予算とは違うため、比較的自由に本の設置場所等を決定することもできました。児童が本に親しむきっかけとなった読書研究会の取り組みには、感謝しかありません。大変お世話になりました。 					

ふれあい読書研究会活動報告書

令和2年度

単位PTA名 (宇土市立走潟小学校)		児童生徒数 (104) 人		
1、予算執行状況 (収入・支出)				
(収入)	県P	50,000 円	(支出) 創作劇準備費用	30,000 円
	単P	0 円	図書購入	20,000 円
2、活動内容・成果・反省				
◎活動内容				
1. 地域の昔話を題材に創作劇の脚本を専門家に依頼し作成。来年度児童による上演を目指して準備を行った。				
2. 学校司書の先生と連携して児童の読書に適した図書を選定し購入した。				
3. 公民館における子ども地域活動で、読み聞かせの時間を担当した。				
◎成果				
・創作劇の脚本を作成できたことで来年度の活動に弾みがついた。児童の地域を愛するところを育む作品になるよう活動したい。				
・読書に適した図書を購入できたことで、児童の読書意欲が向上し貸出数の増加につながった。				
・長年続けている公民館での読み聞かせを今年度も継続できたことで、地域の方にも喜んでもらうことができた。				
◎反省				
新型コロナウイルス感染症予防の観点から、学校での読み聞かせができなかったことはとても残念だった。				
3、今後の取り組みについて				
・児童による創作劇の上演が実現できるよう学校と連携して活動したい。				
・読み聞かせに参加いただける保護者を増やし、ふれあい読書の活動を今後も継続して行うことができるよう、PTAと地域の方々と連携して活動したい。				
4、要望・その他				
今年度、ふれあい読書研究会からの委嘱をいただき大変ありがたく感じた。今後もこの事業が継続され、子どもたちの本に親しむ機会が増えることを願います。				

ふれあい読書研究会活動報告書

2020年度

単位PTA名 (宇城市立小川中学校PTA)		児童生徒数 (387) 人	
1. 予算執行状況 (収入・支出)			
(収入)	県P 50,000円 単P その他	(支出)	
		合計	50,000円
		書籍購入	37,510円
		掲示用品購入	12,490円
2. 活動内容・成果・反省			
◎活動内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒や教職員への希望図書調査の実施、及び調査結果を踏まえた書籍の購入 ・掲示用品を活用したふれあい読書コーナーの設置 (別紙1) ・生徒全員によるブックトークの実施 			
◎成果			
<p>今回購入させて頂いた書籍は生徒に人気が高いため、購入当初は貸出中になっている事が多かったです。そのためか、昼休みに頻繁に図書室に立ち寄ってくれるようになった生徒が増え、当初のお目当ての本以外の本も借りるようになりました。図書室利用が習慣づく良いきっかけになってくれたと思います。</p> <p>又、コーナー設置用の掲示用品を活用する事で生徒の目に触れやすいディスプレイをすることが出来た事も、とても効果的だったと思います。</p>			
◎反省			
<ol style="list-style-type: none"> ① 9～10月実施のブックトーク活動に本の購入が間に合わなかった。 ② ブックトーク活動について、生徒 (学習委員) と司書の連携が不足しておりその結果を図書室の利用を増やすための活動へフィードバックするまでには至らなかった。 			
3. 今後の取り組みについて			
<ol style="list-style-type: none"> ① ブックトークは色々な本を知ることが出来るので生徒主体のブックトーク活動は継続し生徒が本を読むきっかけ作りをしていきたいと考えています。ふれあい読書研究会予算で購入させて頂いた本は今年度のブックトークに間に合いませんでしたが、来年度以降も活動継続することで今回購入した本をさらに活用させて頂きます。 ② 生徒がブックトークで紹介した本の「傾向分析」や「図書館だよりで紹介する」など、図書室の活動と繋げることでより有意義な活動にしていきたいと考えています。 ③ 新刊は生徒の目に触れやすいのでよく読まれています。既存の蔵書の中でも良い本は沢山あるので、それらを読んでもらえるための活動を考えていきたい。 			
4. 要望・その他			
<p>今年度はコロナ感染対策のため図書室が密にならないように一部利用制限をし、積極的な図書室利用を促す活動は出来ませんでした。そんな状況でも本を借りにくる生徒が増えるきっかけとなる本を沢山購入できたのはとても良かったと思います。この度は本校へふれあい読書研究会活動の委嘱をして頂きありがとうございました。</p>			

ふれあい読書研究会活動報告書

令和2年度

単位PTA名 (宇城市立三角中学校)		児童生徒数 (128) 人
1. 予算執行状況 (収入・支出)		
(収入) 県P 単P その他	50,000円	(支出) 本購入 50,000円
2. 活動内容・成果・反省		
<p>◎活動内容</p> <p>①毎週月曜日の朝自習は、全校一斉に朝読書に取り組んでいる。また、給食の準備時間に給食当番以外の生徒はそれぞれ読書を行っている。</p> <p>②読書週間の実施</p> <p>③図書館だより・本の紹介コーナーの充実</p> <p>④本の貸し出しによる親子読書の推進</p> <p>⑤地域の図書館との連携</p>		
<p>◎成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県PTA助成金交付により、職業関係の本が充実した。 ・新刊購入や地域の図書館との連携により、図書館だよりや本の紹介コーナーが充実した。 ・生徒の手による展示コーナーを設けることで、不登校傾向の子が登校するきっかけとなった。 		
<p>◎反省</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書冊数の個人差が大きいため、図書委員会の活動を活性化し、読書への関心が低い子への対応を工夫しなければならない。 ・親子読書については、コロナ禍により積極的な呼びかけができなかった。 		
3. 今後の取り組みについて		
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者への読書への関心を高めるため、「親子読書」等の取組を工夫していく。 ・より一層魅力ある図書館経営を推進していく。 		
4. 要望・その他		
<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい読書研究会の対象校に委嘱していただき、ありがとうございました。コロナ禍で対外的な活動はあまりできませんでしたが、学校図書館の充実を図ることができました。今後もこの事業の発展に協力していきますので、今後ともご支援をお願いします。 		

ふれあい読書研究会活動報告書

2 年度

単位PTA名（宇城市立不知火中学校）	児童生徒数（192）人
1. 予算執行状況（収入・支出）	
（収入） 県P 50,000円 単P その他	（支出）書籍代 50,000円
2. 活動内容・成果・反省	
<p>◎活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒や保護者、教職員から要望のあった書籍を購入した。 ・購入した本を新刊案内ファイルで紹介した。（書籍名、主なあらすじ等） ・図書室のレイアウトを工夫し、購入した本が目立つところに展示した。 ・図書室の本を学級の文庫に貸し出し、朝読書の時間や授業で活用した。 ・図書祭りをを行い、生徒がよく借りた本を紹介したり、感想を掲示した。 	
<p>◎成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでなかった理系、ジェンダー問題を取り扱った書籍を購入し、幅が広がった。 ・本年度の学校評価アンケートで、昨年よりも、子どもが家庭で本を読むようになったと答えた割合は、生徒18%、保護者7%、教職員34%増加し、明らかに生徒の読書習慣は向上している。 ・図書委員会の調査で理系の本を貸し出す冊数が昨年よりも増加した。 ・新しい書籍を購入したことで、昨年まで来ていなかった生徒も図書室へ来室するようになった。 	
<p>◎反省</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、図書委員による集会等での本の啓発ができなかった。また、保護者の来校にも制限がかかっていたため、保護者による、生徒への読み聞かせ等の取組はできなかった。 	
3. 今後の取り組みについて	
<ul style="list-style-type: none"> ・図書委員会の活動をさらに活性化し、図書委員が各クラスをまわって、本の紹介や購入希望を直接把握するなどの活動を行う。 ・図書室前のスペースを活用し、読書感想文や生徒による書籍紹介を行い、本への興味・関心を高める。 ・学習発表会の時に、保護者に向けて、生徒の読書活動（写真、感想文等）の様子を展示し啓発する。 	
4. 要望・その他	
<ul style="list-style-type: none"> ・今まで冊数が少なめで古い書籍も多かった。理数系の本、ジェンダー問題、LGBTQ関連の書籍を購入することができ、これまで来館しなかった生徒も顔を出すようになりました。今回、支援していただいたおかげで書籍を購入することができ、生徒もとても喜んでいきます。やはり、本の量とジャンルが広がると図書室へ足を向ける生徒もふえてきます。本当にありがとうございました。 	

令和2年度ふれあい読書研究会活動報告書

単位PTA名 (宇城市立当尾小学校PTA)	児童生徒数 (414) 人
1. 予算執行状況 (収入・支出)	
(収入) 助成金 50,000 円	(支出) 50,014 円 (うち 14 円は学校予算から支出)
2. 活動内容・成果・反省	
◎活動内容	
<ul style="list-style-type: none"> ・年に2回、おうちの人と読書にふれあう機会をつくるため「おうち読書」を実施した。記録用紙には、保護者の方から当尾小の子どもたちにおすすめの本を書いていただき、選書に活かした。 ・児童集会では、図書委員が事前にビデオ撮影した読み聞かせ動画を各教室で視聴した。 ・図書委員会による春と秋の図書まつりでは、図書館クイズや手づくりしおりコンテストを実施した。 ・全クラスが週1回の「図書の時間」に来館し、本を借りる習慣が身についた。その際、読み聞かせや授業に関連する本の紹介を行い、いろいろな本と出会うきっかけをつくった。 ・授業に関する資料を教室に貸し出し、終了後には授業の成果物を図書室で展示した。 ・新しく買った本に図書委員がコメントを付け、貸出を促す取組を行った。図書委員が自分の言葉で紹介した文章は、子どもたちが興味をもちやすく、貸出の増加につながった。 ・学校のホームページに学校図書館の様子を発信した。 	
◎成果	
<ul style="list-style-type: none"> ・図書室での混雑を避けるため、決められた「図書の時間」での来館を呼びかけたところ、週に1回必ず図書室に来る機会ができ、年間貸出冊数60冊という目標を達成する児童が増えた。 ・並行読書用の図書を教室へ貸し出したことにより、今まで手に取らなかった本にも関心を示す姿が見られた。また、椋鳩十の全集や文庫本を読む児童が増えるなど、読書の量だけでなく質の向上が見られた。 ・調べ学習の成果物として、4年生の「ことわざブック」、5年生の「環境レポート」「宮沢賢治の関連本紹介文」を図書室前廊下に展示した。子どもたちが興味をもって見ていた。 	
◎反省	
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のため、地域の読み聞かせボランティアが活動を自粛されたり、児童同士の読み聞かせを取り止めたりせざるを得なかった。来年度はリモートによる読み聞かせを検討している。また、読み聞かせに代わる本の紹介を増やしていきたい。 	
3. 今後の取組について	
<ul style="list-style-type: none"> ・今年度はコロナウィルス感染症予防の観点から制限される読書活動もあった。しかし、子どもたちの読みたい・知りたい気持ちは変わることなく、図書館利用は増加傾向にある。新しく始めたホームページでの発信や、動画・リモートを使った発信を充実させ、家庭や地域とも連携を深めながら、子どもたちの読書環境を充実させていきたい。 	
4. 要望・その他	
<ul style="list-style-type: none"> ・助成金のおかげで、学校図書館の蔵書を充実させることができました。来年度以降もこの事業を継続していただければありがたいです。 	

ふれあい読書研究会活動報告書

令和2年度

単位PTA名（ 上天草市立姫戸中学校 ）		児童生徒数（ 42 ）人	
1. 予算執行状況（収入・支出）			
（収入）	県P 50,000円 単P その他 合計 50,000円	（支出）	書籍費 47,295円 図書掲示物品費 2,705円 合計 50,000円
2. 活動内容・成果・反省			
◎活動内容			
<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の興味関心の高い本、教師が読ませたい本等を、姫中推薦図書「姫中BOOKS」として選定し、図書室の本以外にも購入した本を中心に学級文庫として、常設した。 ○朝の読書をこれまでの週1回から毎日行うようにし、その時間帯は原則として「姫中BOOKS」を読むこととした。それ以外の時間帯は、自由な読書とした。 ○地域図書館やボランティアサークルとの連携による読み聞かせを下期に月1回実施した。 ○生徒会図書委員会の活動として、新刊本の紹介、長期休業中の本の貸し出しを行った。 ○国語の授業での本の紹介カード等を作成し、おすすめの本の紹介をし合った。 			
◎成果			
<ul style="list-style-type: none"> ○生徒に読ませたい本や興味関心の高い本を購入することができ読書意欲が高まった。毎日帯での時間に読書を設定することで、習慣化につながった。また、休校中にも貸し出しを行うことができたことも読書の習慣化につながることができた。 ○「姫中BOOKS」読書のしおりを作成し、5冊読破ごとに生徒会図書委員会からしおりのプレゼントなどの取組を実施し、読書意欲の高まりが見られる生徒が増えた。 ○読書の習慣が付いた生徒も増え、長文を読むことへの抵抗が減ってきた。 			
◎反省			
<ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、上期は読み聞かせを実施できなかった。下期は対策を取って実施できた。 ○保護者や地域の方向けに図書の貸し出し等を夜のPTA文化委員会時に行うよう企画したが、感染拡大防止のため、会合そのものが取りやめになり実施できなかった。 			
3. 今後の取り組みについて			
<ul style="list-style-type: none"> ○読書には様々な効用があるが、感染拡大の観点からも読書は有効な時間の使い方である。これからも、読書の習慣が付き、読書好きな生徒の育成をめざして保護者や関係機関との連携を図りながら、基本的に本年度の取組を継続していく。 ○本年度は、休校やその後の感染拡大防止の観点から実施できなかった取組もあるが、どんな形なら実施できるか試行錯誤しながら、保護者や地域の方とのふれあいについても取り組んでいく。 			
4. 要望・その他			
<ul style="list-style-type: none"> ○ふれあい読書研究会の対象校に委嘱していただき、本校の読書活動の充実に大変有意義であったことに感謝申し上げます。今後とも、生徒を中心にしながら、保護者や地域の方との読書を通してのふれあいという観点から活動を続けていきたいと思っております。 			

ふれあい読書研究会活動報告書

令和2年度

単位PTA名（ 千丁小学校PTA ）		児童生徒数（ 430 ）人	
1. 予算執行状況（収入・支出）			
（収入） 県P 50,000円 単P その他		（支出） 書籍代50,000円	
2. 活動内容・成果・反省			
◎活動内容			
学校の図書先生と話し合い、今、子ども達に読んでほしい本、子ども達から人気のある本をピックアップしていただき購入した。図書室の中に「PTA図書」のコーナーを作り、貸出が出来るようにした。			
◎成果			
子ども達は自分の好きな本のシリーズが置いてあることに喜び、貸出数も増えていった。また、図書先生が紹介して下さる中で興味を持ち借りていく姿があり、「面白かった。」と感想を述べてくれる子もいた。			
◎反省			
コロナ禍の影響で以前のように朝の読み聞かせなどのPTA活動ができなかったが、PTAからの図書の寄贈という形ができ、つながりが持てたと思う。			
3. 今後の取り組みについて			
今年度はコロナ禍の影響でなかなか集まらずに活動開始も遅くなってしまったが、より本に触れ合える環境づくりや興味を広めていけるような取り組みを、学校とも話し合い取り組んでいけたらと思う。			
4. 要望・その他			

ふれあい読書研究会活動報告書

令和2年度

単位PTA名 (八代市立第五中学校)	児童生徒数 (165) 人
1. 予算執行状況 (収入・支出)	
(収入) 県P 50,000円 単P 5,000円	(支出) パネルシアターセット 55,000円
2. 活動内容・成果・反省	
◎活動内容 ①朝の絵本の読み聞かせ。年4回。各教室にて20分間。 ②「五中わっごの会だより 2020年12月 46号」を発行。 ③グループLINEでの会議を実施。	
◎成果 ①絵本だけでなく、手遊びや素話、紙芝居なども織り交ぜ、各読み手がそれぞれに工夫を凝らした読み聞かせになった。今回購入したパネルシアターセットはパネルのサイズが大きく、生徒がパネルシアターに参加して一緒に演じて、ソーシャルディスタンスを確保できた。毎回、生徒がパネルシアターセットの片づけを手伝ってくれ、予想外の交流ができた。 ②「五中わっごの会だより」で、今年度のわっごの会の活動を保護者に向けて報告した。新型コロナウイルスの影響で活動自体が制限されたが、読み聞かせ中の生徒の素直な反応やほのぼのとした様子を伝えることができた。 ③五中わっごの会の会議は、密を避けるためグループLINEを活用した。今年度は新型コロナウイルスの対策を練ようと、例年以上に話し合いを重ねた。「出来たしこ」をモットーに、無理せず楽しんで活動を続けるという共通認識を持つことができた。	
◎反省 ①新規加入が少ないために会員が減少している。 ②朝の絵本の読み聞かせは年6回の計画だったが、コロナ禍のため活動が2回減ったため、残念だった。	
3. 今後の取り組みについて	
① 新型コロナウイルスの感染状況を注視しつつ、朝の絵本の読み聞かせを続けていきたい。 ② 年1回の「わくわく高田ん子おはなし会」で生徒とともにパネルシアターを演じ、地域の子どもたちに本の魅力を伝えたい。 ③ 会員を増やすため、わっごの会を身近に感じてもらえるような取り組みを考えたい。	
4. 要望・その他	
今後も学校の読書活動への支援・協力をお願いしたい。	

ふれあい読書研究会活動報告書

令和2年度

単位PTA名 (氷川町立宮原小学校)		児童生徒数 (228) 人	
1. 予算執行状況 (収入・支出)			
(収入)	県P	50,000円	(支出) 80,000円
	単P	30,000円	
	その他		
2. 活動内容・成果・反省			
◎活動内容			
・ 地域ボランティアグループによる週1回の「朝の読み聞かせ」を実施した。(9月から)			
・ PTAの予算から絵本等を購入していただき、各学級で読書の時間を設定して活用した。			
・ 図書室での感染対策として、飛沫防止パネルを購入設置した。			
◎成果			
・ 「朝の読み聞かせ」を通して、絵本や物語に興味を持ち、本に親しむ子どもが増えた。			
・ 図書室に飛沫防止パネルを設置したので、児童が安心して読書活動ができた。			
◎反省			
コロナ禍で、例年通りの活動を実施することができなかった。			
3. 今後の取り組みについて			
・ PTA本読み・遊び委員会による月1回の「昼休みの読み聞かせ」などを行う。			
・ PTA主催による保護者対象の教育講演会を行う。			
4. 要望・その他			
・ 特にありません。			

ふれあい読書研究会活動報告書

令和2年度

単位PTA名（八代市立二見中学校PTA）	児童生徒数（17）人
1. 予算執行状況（収入・支出）	
(収入) 県P 50,000円 単P 0円 その他	(支出) おすすめの本及び読み聞かせの本代として 50,000円
(収入計) 50,000円	(支出計) 50,000円
2. 活動内容・成果・反省	
◎活動内容 (1) 令和2年10月20日（火）…PTA役員3名による生徒への読み聞かせ（添付資料あり） (2) 令和3年1月13日（水）…肥後っ子いきいき読書アドバイザー 吉川 和子氏による「魅力ある図書室作り」のアドバイス（添付資料あり） (3) 学校図書の本の購入	
◎成果 (1) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、地域ボランティアによる読み聞かせもできない状況であった。「普段ではできないことをやってみよう」を言葉に、授業参観日の僅かな時間を使って、生徒への読み聞かせを計画し、実施に繋げることができた。生徒全員が真剣に聞いている様子が印象深く、保護者としてもやってよかったと思える時間となった。 (2) 二見中学校の図書室を魅力あるものにしたいと、読書アドバイザー事業の存在を知り、プロの目線でこちらの要望に真摯にアドバイスしていただいた。 (3) 学校図書として、生徒により読んでもらいたい本の選書に悩んでいたところ、読書アドバイザーの協力のもと、本の購入を行った。	
◎反省 (1) 授業参観も後に控えていたため、読み聞かせ後の生徒たちの反応や感想を聞く時間がなくなってしまった。今後は、感想を聞ける時間の確保や何かしらの形で生徒の声を聞けるようにしたい。 (2) 活動内容にも挙げて、大きく取り組みたいところだったが、コロナウイルスの影響で思うような成果に繋がらず、年度内に取り組めることが僅かなものになった。	
3. 今後の取り組みについて	
(1) 「読み聞かせ」は子供たちの心を育てることに繋がっていると知り、地域ボランティアやPTA役員だけではなく、保護者一体となって継続できるものにしていきたい。 (2) 図書アドバイザーによる助言を受けて、少しずつでも年間を通して、学校図書室を魅力あるものにできるよう、学校と協力しながら取り組んでいきたい。	
4. 要望・その他	
・ふれあい読書研究会の活動を通じて、普段できないことをやってみようという気持ちになりました。PTA役員の協力も得ながら、また、コロナウイルスの感染状況で思うような活動が出来ませんでしたが、とてもよい経験をさせてもらいました。今後も「ふれあい読書」を周りに紹介してPTAの活動としても幅を広げられるよう努めたいと思います。大変お世話になりました。	

ふれあい読書研究会活動報告書

令和2年度

単位PTA名 (水俣市立久木野小学校PTA)		児童生徒数 (19) 人	
1. 予算執行状況 (収入・支出)			
(収入)	県P 50,000円 単P 10,000円 その他 10,000円 (久木野小後援会)	(支出)	久木野小ふれあい図書館関係 42,354円 視察研修関係 17,000円 (残金) 10,646円は単Pと後援会に戻しました。
2. 活動内容・成果・反省 ※コロナ禍で年度当初の計画を止む無く大きく変更しました。ご了承ください。			
◎活動内容			
<p>「久木野小ふれあい図書館」(令和2年9月～)</p> <p>今年度、学校からの依頼で、学校図書館カウンターの保護者ボランティアに取り組むこととなった。9月から、数回の協議・研修を経て、3学期から正式にスタートした。「無理なく、参加できない方々も一緒に見守っていく」ことを前提にして、グループLINE「読書ボランティア～久木野」を作り、「調整さん」というアプリで参加可能な保護者の一覧ができるという画期的な取組である。</p> <p>それを記念して助成を活用し、12月に読み聞かせ用の図書と子供たちの図書館で読みたい図書のを購入した。カウンター業務だけでなく、読み聞かせ等も始まっている。</p>			
<p>「八代市立図書館視察研修」(令和3年2月)</p> <p>車2台に分乗し、同図書館を訪問。施設を見学するとともに小出図書館長から前述の「久木野小ふれあい図書館」の取組に対するアドバイスをいただいた。次年度の「親子読書の旅」の候補になった。</p>			
◎成果			
○ ふれあい読書研究会がきっかけで、保護者が子どもたちを取り巻く読書環境を考え、取り組むいい機会となった。			
◎反省			
○ コロナの状況で、当初予定の内容が中止(RKK元アナウンサー・岩元克雄氏の親子ワークショップ及び読書の旅)となってしまった。分校での読み聞かせも含め、コロナが収束すれば次年度以降に実施したい。			
3. 今後の取り組みについて			
○ 就学前の幼児を持つ保護者も利用できるように案内や連携をしていきたい。 ○ PTAによる先進図書館(学校図書館を含む)視察研修や、講師を招聘しての研修・講演会など計画していきたい。			
4. 要望・その他			
○ 可能なら次年度もご支援をお願いしたい。会員数が少ないため、今後は自主財源を生み出す努力が必要で、また並行して新たな読書助成事業(子どもゆめ基金など)にもチャレンジしたい。			

ふれあい読書研究会活動報告書

令和2年度

単位PTA名 (水俣市立水俣第二小学校)	児童生徒数 (368) 人
1. 予算執行状況 (収入・支出)	
(収入) 県P 50000円 単P 20774円 その他 0円	(支出) 図書購入 70774円… (別添)
2. 活動内容・成果・反省	
<p>◎活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読書の木」…自分のおすすめの本の「タイトル」「おすすめ理由」を書いた葉っぱを全校児童分集めて、読書の木として掲示した。 ・「スタンプラリー」…本1冊につきスタンプ1つとして、学年に応じてスタンプの個数を決めスタンプがたまったら、ぬりえをプレゼントした。 ・「読書ビンゴ」…いろいろなジャンルの本が読めるようなビンゴカードを作り、達成したらしおりをプレゼントした。 ・イベント「新春おみくじ付きしおり」…本1冊につき、1つおみくじ付きしおりが引ける。 ・イベント「サンタさんからの贈り物」…図書室に隠されたプレゼントマークをさがすと、しおりをプレゼントした。 	
<p>◎成果</p> <p>それぞれのイベントごとにたくさんの児童が図書室に来室し、本への興味をひくよい機会となった。また、多くの児童の読書量が増えた。</p>	
<p>◎反省</p> <p>学校全体として、読書量が上がっているが、個人で見ると、読書量が増えない児童もいる。また、イベント期間でないときは、来室数が減る傾向にある。</p>	
3. 今後の取り組みについて	
<p>今後も季節の行事に合わせた楽しいイベントを実施していきたい。 また、月末・学期末に読書量の多い児童やクラスを表彰し、意欲付けをしていく。</p>	
4. 要望・その他	
<p>新型コロナウイルス感染防止の観点から、蜜になりそうなイベント（七夕飾りづくり、カレンダー作り）や読み聞かせなど保育園や地域との関わりのある活動は中止した。 新型コロナウイルスの終息後は、幼稚園や地域との関わりも再開していきたい。</p>	

ふれあい読書研究会活動報告書

令和2年度

単位PTA名（芦北町立湯浦中学校）	児童生徒数（ 97 ）人
1. 予算執行状況（収入・支出）	
(収入) 県P 50,000円 (支出) 53,362円 単P 3,362円 その他	
2. 活動内容・成果・反省	
◎活動内容 今年度は購入した図書を使い、読書感想文のコンクールや啓発活動を行う予定だったもののコロナ影響により、図書の選定が遅れてしまった。 再度取組内容を執行部で検討し、親子でオススメの本を選んでもらい、その本を購入した。購入した本は、更におすすめした生徒がより他の人に読んでらもうようなPRの仕方など生徒自身が行う読書啓発活動を来年度行っていきたい。	
◎成果 成果が出るほど期間がなかったのが現状であるが、新しい本の配備により、図書室の利用率は上がった。今後この流れが定着していくよう取り組んでいく。	
◎反省 コロナ禍で、執行部が集まることができず、事業の取り組み開始が遅れた。図書を早い段階で配備できればよかったと思う。	
3. 今後の取り組みについて 前述の通り、新しい本の導入により図書室の利用率が上がった。導入した本をより読んでもらうための取り組みを次年度行っていく。	
4. 要望・その他 図書事業によって、新しい本を購入するきっかけとなる、ありがたい事業だと思います。欠格期間が3年あるため、申し込み資格が復活するころには、携わった者が卒業していることもあり欠格期間を2年または無し等にしていただけると引き継ぎや、活発な取り組みができると思います。	

ふれあい読書研究会活動報告書

令和2年度

単位PTA名 (人吉市立西瀬小学校)	児童生徒数 (205) 人
1. 予算執行状況 (収入・支出)	
(収入) 県P 50,000円	(支出) 図書購入費 50,000円
2. 活動内容・成果・反省	
<p>◎活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 保護者や地域の方による朝の読み聞かせ活動 ② 児童や職員による「おすすめの本」の紹介 ③ 学年ごとの「おすすめの本」の選定 ④ 家庭で読書を楽しむ「ファミリー読書」 ⑤ 朝の一斉読書 ⑥ 図書委員会による読書推進のための取組 (読書集会、読書活動の啓発、貸し出し冊数に応じた葉のプレゼント) ⑦ 「図書だより」の発行 	
<p>◎成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 読書月間に合わせて、学年ごとにおすすめの本を選定した。日頃読まない本や、学年にあった内容の本を選んだことで、様々な本に出会わせることができた。また、「読書ビンゴ」も同時に行い、楽しみながら読書に取り組んでいた。 ○ 今回の図書購入費で、教科の内容に沿った本を購入した。調べ学習等に活用することができた。 ○ 保護者や地域の方と一緒に読書活動に取り組んだことで、本に関する興味・関心が高まってきている。親子で読書をする取組も、「子供とゆっくりとした時間を過ごすことができた。」などの声があり、よい機会となったようだ。 	
<p>◎反省</p> <p>学年や個人によって読書量に差があった。読書月間だけでなく、担任の先生方と連携したり、日常的に本の紹介を行ったりしていく必要がある。</p>	
3. 今後の取り組みについて	
<p>児童や職員、保護者と共に、読書イベントや読み聞かせなど、今年度の取組を継続して行っていく。</p>	
4. 要望・その他	